

交通安全教室

本校では、年度始めに、危機を予測し、安全を確認しながら適切に判断し、行動ができる力を高めるために、交通安全教室を行っています。

今年度は、各学部の実態に応じて、部ごとに交通安全教室を行いました。また、警察署と市役所共働課にもご協力をいただきました。

小学部



小学部では、体育館に横断歩道と信号機を設置して、信号機の見方と横断歩道の歩き方を学習しました。ポイントは、「①赤とまる ②右、左、右 ③手を挙げる」です。信号が変わるまで待って左右を確認して手を挙げて渡ることができた児童がたくさんいました。坂出警察署の方にも見ていただき、ご指導をいただきました。横断歩道では前を向いて歩くことを教えていただきました。小学部のうちは、一人で出かける機会はあまりないかもしれませんが、知っておくと中学部や高等部に進んだとき、安全に行きたい所に行けるようになるので、普段から意識できるよう継続して指導していきたいです。

中学部



中学部では、最初に警察署の方から交通安全に関するお話をうかがった後、二つのグループに分かれました。「スクールバス・送迎」グループは、実際に府中駅まで歩き、その中で、横断歩道の渡り方の練習をしました。



「自転車」グループは、市役所共働課の方から、踏切の渡り方や停車している車の横を通る際の注意点を教えていただき、踏切に見立てた場所を実際に渡ったり、とまっている車の横を通ったりする練習をしました。教えていただいたことを、実際の生活で生かせるように、校外学習や貯金などで校外に出るときは、確認していきたいと思います。

高等部



高等部では、最初に警察署の方からお話をいただいた後、「自転車」「スクールバス・送迎」「JR」グループに分かれて、実際に路上で練習しました。「自転車」グループは、踏切を渡る前に一度下車し、自転車を押して踏切を渡り、渡り終わったら乗車することを警察署の方から教えていただきました。また、帰校後、自転車点検の仕方も共働課の方から教わり、自転車点検を行いました。「スクールバス・送迎」「JR」グループも路上を歩き、左右の安全を確認して横断歩道を渡ったり、静かに駅のホームで待ったりしました。折に触れ、継続して指導していきたいと思います。

本校では、小学部の5・6年生が2年に1回、中学部は3年生、高等部は2年生が毎年修学旅行に行っています。修学旅行の1年前には、生活単元学習の中で、先輩が訪れた観光地やインターネット、旅行ガイドなどの情報を参考に、自分が行きたい所やしたい活動を考えます。そして、友達の意見を聞き、友達と相談しながら行き先の希望をまとめます。修学旅行が近付くと、どこで、誰と、どんな活動を、どのようにするのか、具体的に学習していきます。そんな学習を積み重ねることで、修学旅行に行く期待を高めるとともに、見通しをもって旅行期間を楽しく過ごすことができます。今年も、中学部、高等部が修学旅行に行ってきました。その様子を紹介します。

中学部

中学部は、事前学習で行き先ごとに「わくわくシート」を作り、分かったことやその場所で楽しみにしていることを踏まえ、10月31日（水）～11月2日（金）の二泊三日、大阪に行ってきました。一日目の見学先は「ニフレル」です。カピバラやハナミノカサゴなど会いたかった生き物を探し、一緒に写真を撮りました。次に向かったのは「あべのハルカス」です。エレベーターの中の電飾が変化していく様子や60階から大阪の景色を楽しみました。二日目はUSJに行きました。最初はクラス全員で行動し、昼食後、「ドキドキコース」と「わくわくコース」に分かれました。「ドキドキコース」は次々とアトラクションを体験し、まさしくドキドキのスリルを味わいました。「わくわくコース」は大きなクリスマスツリーの前で写真を撮ったり、ショーを楽しんだりしました。ちょっぴり足が疲れたけれど、楽しさいっぱい的一天になりました。最終日は、ドーナツ作りを体験し、揚げたてのふわふわドーナツを食べました。いつも5人で声を掛け合い、5人で行くからこそ楽しめる修学旅行となり、クラスの絆がまた深まりました。



高等部

9月12日（水）～14日（金）まで関東方面に修学旅行に行きました。一日目は浅草、東京スカイツリー、上野動物園、アクアパーク品川に行きました。40分待ちでやっと会えたシャンシャンは爆睡中でした。（泣）アクアパークのイルカショーは、光と音楽で演出された幻想的な雰囲気の中で、一糸乱れぬイルカたちの演技にみんなが感動しました。一日目はICカードを使って公共交通機関を利用しました。事前学習で練習したかいがあり、カードで「ピッ！」もみんなスマート！移動の時間も短縮でき、ちょっとした買い物もカードを使って自分でできました。二日目は終日東京ディズニーシー。10のアトラクションを体験し、思う存分楽しみました。ランチタイムには、ミッキーやミニーたちと一緒に写真を撮ったり、サインをもらったりして、思い出に残る時間が過ごせまし



た。三日目は日本科学未来館でアシモに会い、月島でもんじゃ焼を食べ、カップヌードルミュージアムに行きました。三日間天候に恵まれ、見て、聞いて、触って、嗅いで、食べて、五感をフルに使って旅を満喫しました。みんなで助け合い、みんなで笑い合い、みんなで作った思い出は一生の宝物です！

附属特別支援学校における進路指導について

特別支援学校の進路

特別支援学校の進路先には、一般事業所（会社）への就労【一般就労】と福祉事業所への通所、入所【福祉就労】、そして【進学】があります。

一般就労は会社に就職し、一般の方と同じように働きます。福祉就労はいくつかのタイプがあり、本人の実態や本人・保護者のニーズに合わせて選べるようになっています。

進学については、件数はほとんどありませんが、障害者職業能力開発校という（岡山や広島などにある）学校が主な進学先になります。

本校の進路決定の流れ

高等部では卒業後の進路を決定するまでに1年次に1回、2年次に2回、3年次に2回以上、合計で5回以上の「現場実習」を行います。「現場実習」とは実際の事業所で2週間から4週間働き、日頃の作業学習や職業教育の成果を試す場と同時に働く経験、働く力、働く意欲等を身に付けたり、学んだりする意義ある実習です。1年生は働く大切さを知る実習として（前期は学校内で実習）、2年生は自分の力を試す実習、3年生は進路を決める実習として各一般事業所や福祉事業所で行います。中でも3年生は個別（一人）で行い、福祉就労を目指す生徒にとっては、進路先を選択する場となり、一般就労を目指す生徒にとっては実質の入社試験となります。そのため、現場実習の結果で卒業後の進路先が決定していきます。

附属特別支援学校の進路状況

卒業年度	一般就労	福祉就労	計
24年度	3	5	8
25年度	2	7	9
26年度	1	10	11
27年度	2	6	8



現場実習の様子

あいさつ運動（現場実習前）～校内・現場実習

6月9日～24日まで校内・現場実習を行いました。それに先立って5月23日～27日に「あいさつ運動」を高等部で実施しました。元気な挨拶ができることは職場でも大きな武器となります。タイミングのいい挨拶、気持ちのいい挨拶はしようとしてできるものではありません。やはり、日頃からの積み重ねだと思います。今回取り組んだことで、「あいさつ運動」後も進んで挨拶をする生徒が増えました。そして現場実習先でも、職場の方に元気に挨拶することができた生徒が多かったです。

その現場実習では、どの生徒も真剣に取り組み、自分で立てた目標が達成できるように頑張っていました。また実際に現場で働いたことで、働くことの意識がより高まりました。

本校を卒業する生徒を雇用してください。

皆さんの周りに、障害者の雇用に関心がある方、また説明を聞いてみたいという事業主さんがいたら、本校の進路担当（塩田）まで連絡ください。障害者の雇用に関するものでしたら、どんな相談でもお受けいたしますので、是非ご一報ください。

特別支援学校

青年教室について

青年教室とは本校OBによる卒業生・保護者の会のことです。日帰り旅行やキャンプ、カラオケ、ボウリングなど年間を通して様々な活動を行っています。皆さん自分の予定を見ながら、無理のない範囲で参加しています。それぞれ楽しみにしている活動もあり、そのときは本当に楽しそうです。

青年教室は、会員同士の交流や情報交換の場となり、本校職員にとっても、卒業生の現在を知り、その姿から在学中の指導を考えることができる大変有意義な機会になっています。



日帰り旅行



母校でキャンプ



カラオケ



一泊旅行(今年度は足摺方面)